



ちよっとためになる お金 の話

こんにちは。子育て世代専門のFP（ファイナンシャルプランナー）角山です。いつもはHUG HUGママスクールの「子育てママが始める教育費と老後のお金の貯め方」で話していますが、皆様からのご要望にお応えして今更聞けない「お金の話」を分かりやすく、こっそりお伝えします。

好評を頂いております第11回目ラジオ出演の詳細です。

RSK
RSK山陽放送

RSK山陽放送ラジオ
AM1494kHz FM 91.4kHz

「かくさんの
知って得するお金の
ちよっと良い話」
毎月第4水曜日
16:10頃～約5分
次回は3月25日(水)です

*若干時間が前後する可能性があります

もし良かったら、聴いてください。

今回は選挙後に今後、家計に影響を与えそうなことをお伝えしました。対策についてお伝えしようと思いましたが、前回の記事後にある記事が出ました。金利上昇に関連しますが、「奨学金」の記事です。

金利上昇によって返済金額が上昇している記事が出ていました。奨学金は返済不要の「給付型」と返済が必要な「貸与型」があり、金利は卒業時によって返済の適用金利が変わります。学生の借りられる平均額は336万円らしいです。

2026年1月の返済利率は約2.5%、2022年の返済利率は約0.4%でした。この金利上昇によって卒業年次が変わることによって約78万円の差額が生じているみたいです。

最近では返済が困難になり、延滞す

る人が増えているようです。あまり延滞者が増えたりすると制度の継続にも影響してくると思います。

奨学金を借りる目的は「今、手元のない教育資金を未来の自分から前借りして、キャリアの選択肢を広げるため」です。返済を待ってもらって「返還期限猶予」や、月々の額を減らす「減額返還」もありますが、もっと本格的な改革が必要かもしれませんね。

私は大学は東京の方におり、奨学金を利用しておりました。返済期間が15年くらいかかりましたが、非常に助かりました！

よくお子様の教育資金相談を受けます。その相談の中で、奨学金を借りた方が良いかどうかの相談を受ける時があります。奨学金は、なるべくなら借りないようなプランで話をしますが、物価や賃料や学費は高騰しています。

そうすると貯金方法を変えるのか支出を見直すのかライフプランを作ってお金の流れを見直すかなどの行動が必要になるかと思えます。

詳しくは、次号でお伝えしますね。

最後までお読み頂きましてありがとうございます。また、良かったら、来月も見てくださいね！

HUG HUG特典 無料相談は要予約
角山先生と1対1で相談(相談時間:1時間 無料)
&
家計診断(ライフプラン)作成プレゼント

無料相談をご希望の方は、メールにて受け付けています。
①氏名 ②メールアドレス ③電話番号 ④ご希望の日時を明記し、「info@hughug-town.com」までお送りください。



角山 大尚

約22年前より独立し、ファイナンシャルプランナーとしてセミナーや個別相談会を全国各地で開催。個別で勉強して身につけた知識をどう実生活に活かしていくのかをアドバイスしている。